

市会レポート2021年

(36)

多文化共生社会の実現を

公明党横浜市会議員 高橋まさはる

緑区では約4300人 必要性を市会で訴えてき

の外国人市民が暮らし、

ましたが、7日「みどり

その増加率は横浜市内18

国際交流ラウンジ」が中

区中トップです。国籍別

山1丁目に開設します。

ではインドが全体の25%

運営団体は、みどりーむ

で、霧が丘のインド系イ

国際交流部会の皆さまを

ンターナショナルスクー

中心とする「みどり多文

ル誘致に起因します。

化共創の会」です。

外国人市民の急増に伴

ラウンジでは、通常の

い、ごみ出しルールの共

外国人市民への日常的な

有ニーズなどラウンジの

情報提供・生活相談に加

を期待します。

配置されます。

コロナ禍における多言

語での情報提供や医療相

談なども新たな課題とな

る中、ラウンジが外国人

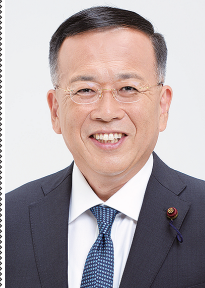
市民、自治会・町内会、

NPOやボランティアな

どのハブ拠点として機能

し、多文化共生社会の実

現が緑区から拡がること



高橋まさはる プロフィール

- 横浜市監査委員・防災士
- 1959年
岡山県倉敷市玉島生まれ
- 02年
東芝ソシオシステムズ(株)退社
- 03年
市議員に初当選、現在5期目
- 霧が丘在住
事務所：中山1-20-5

☎045-
929-5305

www.masaharu.info
info@masaharu.info

